

## 平成24年度 特色ある学校づくりサポート事業成果

### 1 事業の名称

「確かな学力を培うための学校間連携事業及び表現力の育成」

### 2 事業の目的

- (1) 中学校で一緒になる西袋第一小学校と交流を深めること、そして進学先である西袋中学校と連携を深めることにより、子ども達が不安を持つことなく学習や部活の中学校生活をスムーズにスタートできるようにする。
- (2) 本校の児童の実態から、授業や家庭学習において辞書活用や暗唱活動などを推進することにより、語彙力を増やし表現力を高める。

### 3 事業の内容

#### (1) 学校間連携

##### 小小連携

11月28日、2月20日の2回にわたって本校の6年生が、中学校で一緒になる西一小の6年生と合同の授業を行い、交流を図った。また、給食を一緒に食べたり昼休みを一緒に過ごしたりして友達を増やしていった。



##### 小中連携

10月31日に進学先の西袋中学校に出かけ、中学校生活についての説明を聞いた。また、実際の授業の様子を見たり部活動を見学したりして、中学校生活の一部を理解することができた。



## (2) 表現力の育成

### 暗唱活動

全校生を対象に60作品の暗唱活動に取り組んだ。家庭と学校で暗唱試験を行い、両方でできて合格となる。10作品ごとにミニ賞状を与えて励ましてきた。



### 辞書の積極的活用

3年生以上で個人の辞書を購入し、授業の中で辞書を活用する習慣作りを意図的に進めてきた。励ましの意味を込めて、調べた言葉に付箋を貼るようにしてきた。



### 四字熟語カルタ

高学年で四字熟語のカルタを100問作り、休み時間などに活用してきた。2学期以降に10問ごとの把持テストを実施し、より定着を図ってきた。



4 事業期間 平成24年5月1日 ~ 平成25年3月20日

## 5 成果

### (1) 学校間連携について

西一小に行き、合同の授業や給食を一緒に食べることでより友達ができ、中学校生活への希望と安心感を持つことができた。

中学校の体験入学では、生活の様子について説明を聞き、また授業や部活を見学する中で中学校生活について理解を深めることができ、不安を和らげることができた。

### (2) 表現力の育成について

暗唱活動については家庭の協力を得て推進することができ、低・中学年を中心に意欲的に取り組んだ。暗唱活動を通して友達に認められ、学校生活に自信を持つことができるようになった児童もいる。

3年生以上で辞書活用を積極的に行い、語彙を増やすことができた。言葉に関心を持つようになり、自ら調べる姿が見られるようになった。

休み時間にカルタ遊びを通して四字熟語を覚える姿が見られた。四字熟語の把持テストでは、良い結果が出た。